

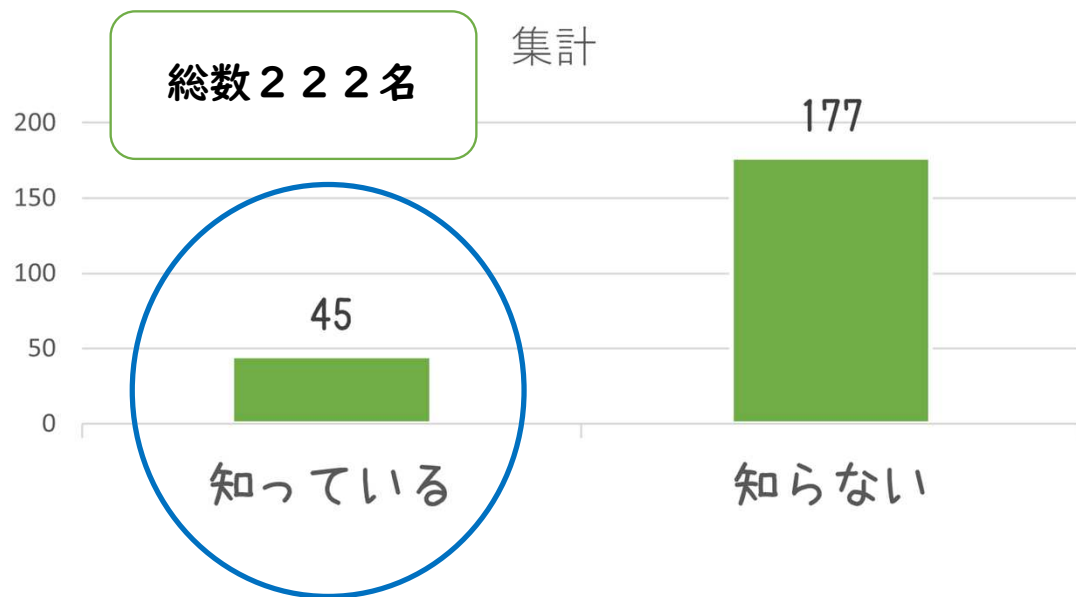
# アンケート結果

## 社協の認知度・取り組みへの理解度

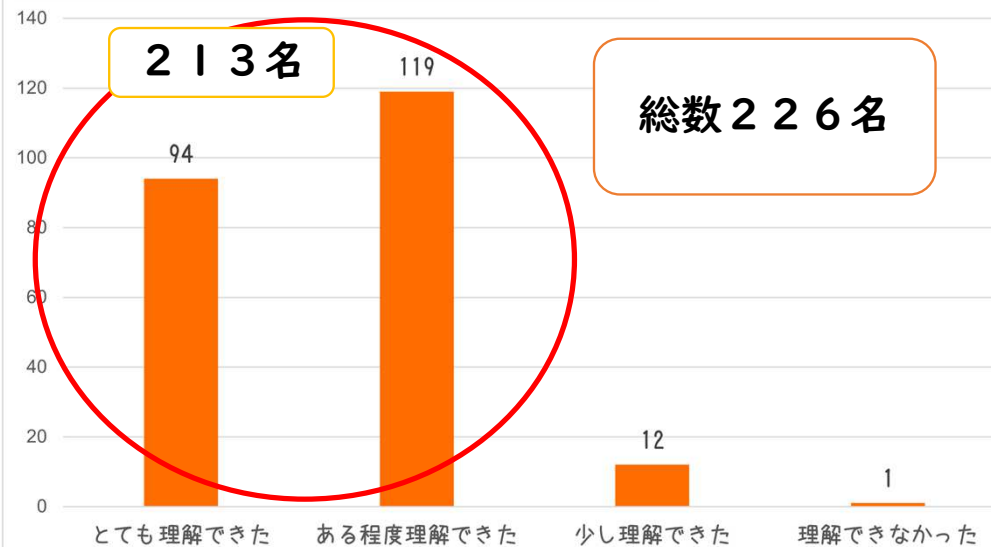
授業前

授業後

個数 / あなたは社会福祉協議会（社協）という組織（社会福祉法人）を知っています…



個数 / あなたは社会福祉協議会（社協）がどのような取り組みをしているか理解できました…

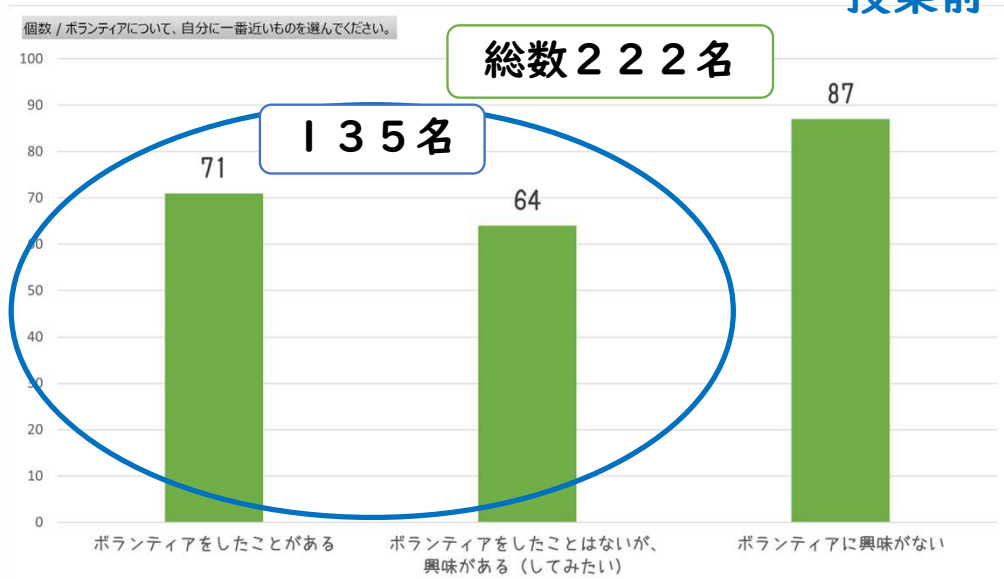


出前授業を実施する前は、社会福祉協議会を知っている生徒は、約20%のみだった。  
今回、出前事業を実施したことで社協の取り組みを「とても理解できた」「ある程度理解できた」と答えた生徒が90%を超えており、社協の取組や事業内容を周知するという目標が達成できたといえる。

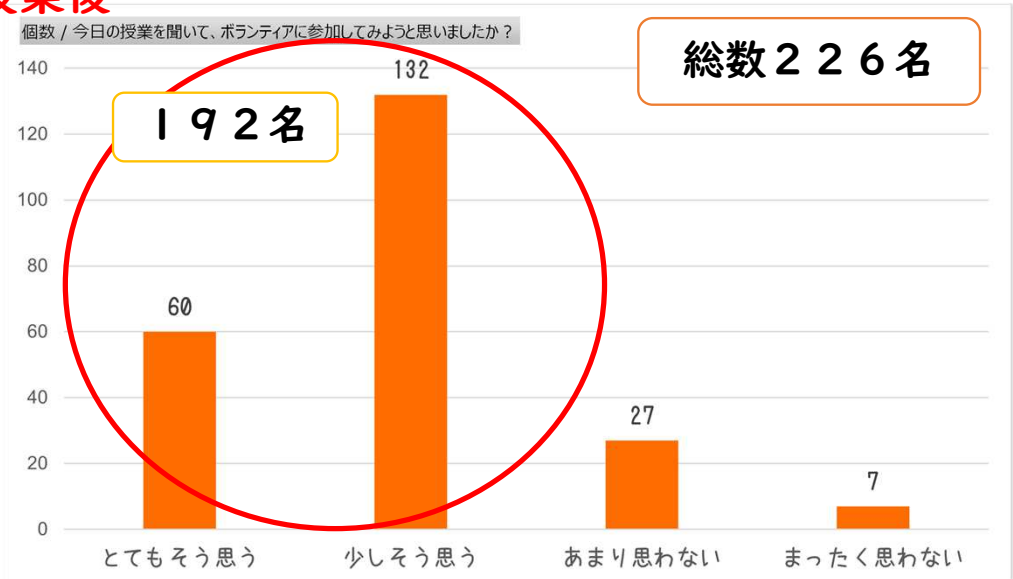


# アンケート結果 ボランティア活動への関心・興味

授業前



授業後



出前授業実施前はボランティアをしたことがある、またはしてみたいと回答した生徒が約60%であった。授業実施後、ボランティアに参加してみようと思うと回答した生徒の割合は約85%を占め、生徒のボランティア活動への関心がさらに高まったという結果が得られた。

身近で簡単な手助けなどから、誰もが福祉の担い手になれるということを伝えた結果、生徒たちのボランティア参加に対するハードルが下がり、活動に積極的になるきっかけとなったことがうかがえる。

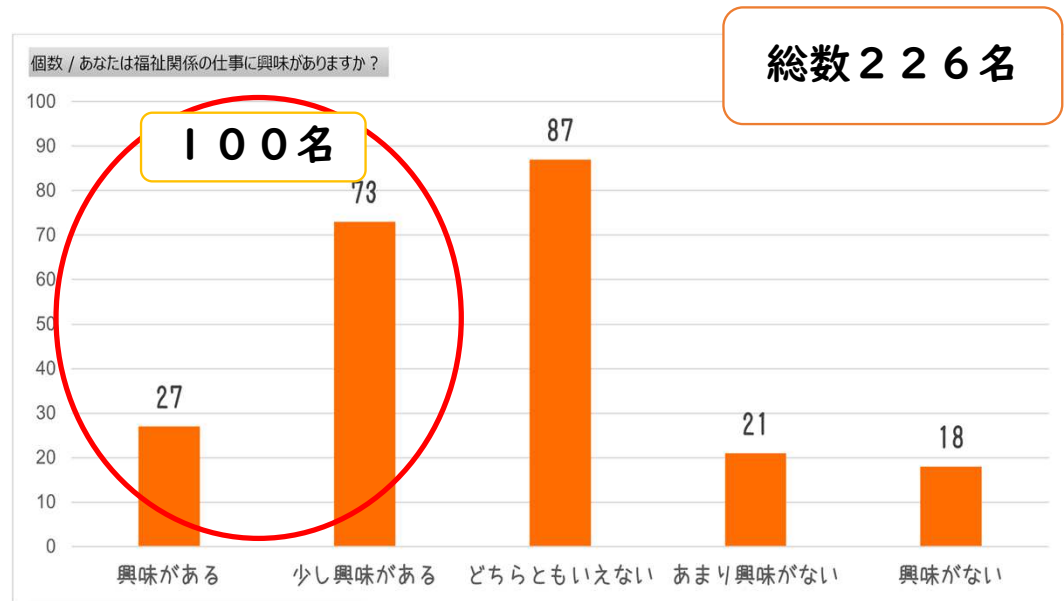
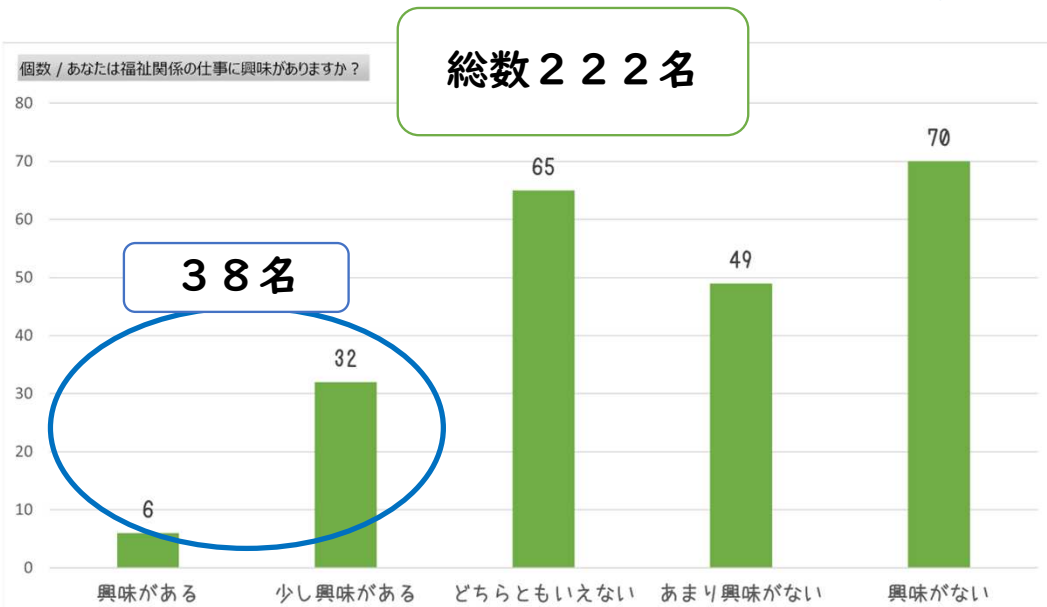


# アンケート結果

## 福祉に関わる仕事への関心・興味

授業前

授業後



出前授業前は、福祉に関係する仕事に興味を示した生徒の割合は約17%のみであったが、授業実施後には約44%にまで増加する結果となった。

進路選択を控えている高校生に対して直接魅力とやりがいを伝えるというアプローチをしたことで、福祉に関する仕事も将来の選択肢の一つとして認識させることができた。

また、企業とコラボをすることで一般企業も福祉に関わっていることや、福祉に関わる仕事の幅広さも伝えるでき、将来の福祉の担い手育成にも繋がる可能性を感じる結果となった。

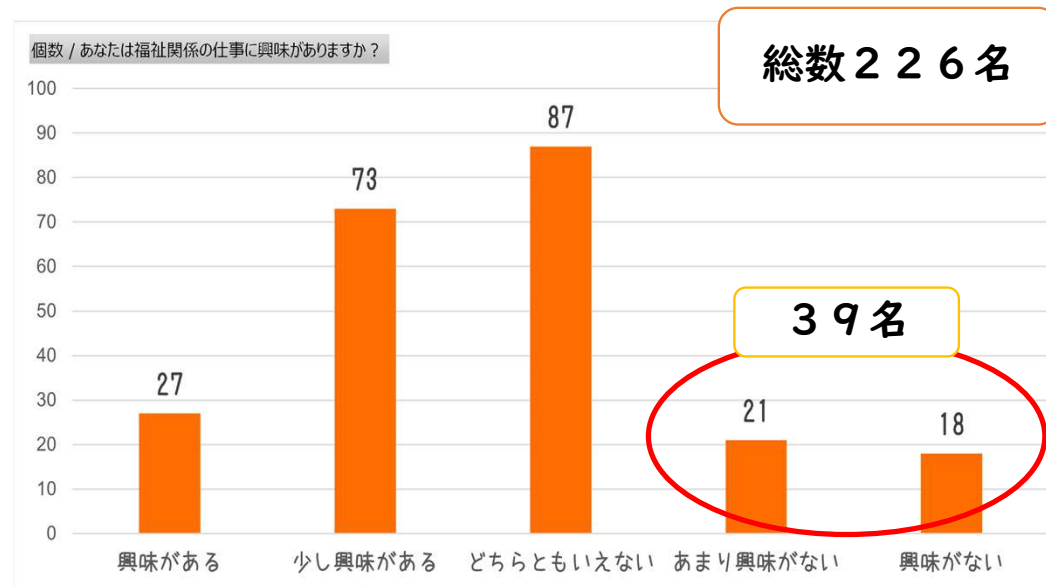
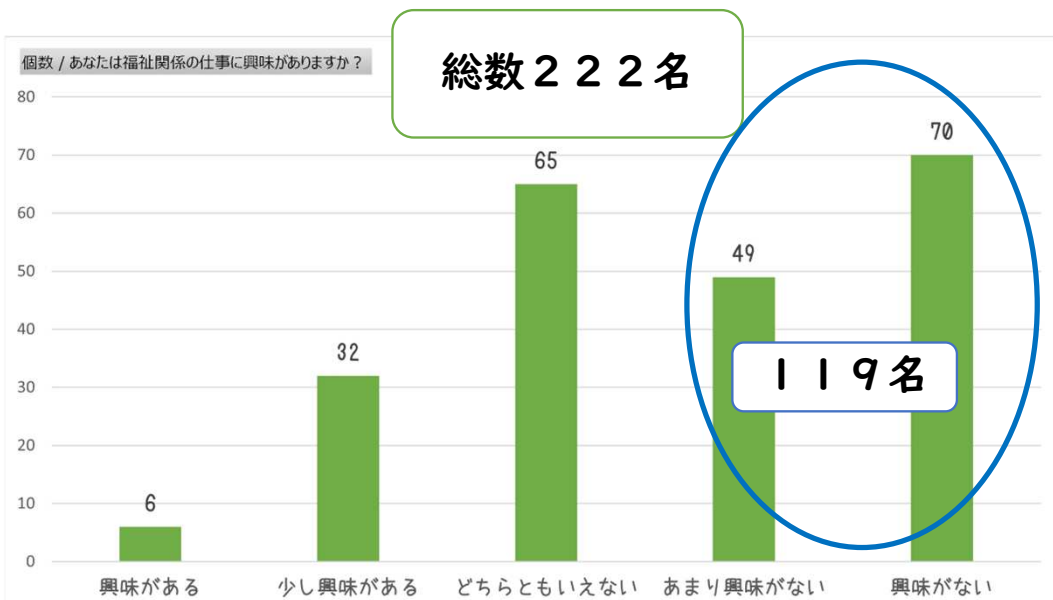


# アンケート結果

## 福祉に関わる仕事への関心・興味

授業前

授業後



今回の出前講座を実施前には、福祉に関係する仕事に興味がないと回答した生徒は約53%であったが、授業実施後には約17%にまで減少した。

これは、福祉に関わる仕事の給与や仕事内容について説明することで、給与が安い・体力的にきつい仕事であるといったマイナスイメージを払拭したことが大きな要因であると推測される。



# アンケート結果 福祉に対するイメージ

**授業前** あなたの福祉に対する「今」のイメージを簡潔に書いてください。

- わからない、障害のある人に優しくするイメージ
- んー働かなくなったり、家がなくなったり困った時とか社会的に終わった時助けてくれそうなイメージだけど
- 大変そうで休みが無さそう。夜中まで働いている
- 日常生活が大変そう
- ブラック楽しくない
- おじおばのお世話
- 疲れそう
- わからない
- 激務な職種が多いイメージ
- お年寄りを大事にしている？
- 普段あまり考えることのないもの
- 大変なイメージ
- 困ってる人を助ける的な、？
- 力仕事 長時間労働 人手不足 薄給
- 受ける立ち場になりたくないなあ
- 私には無縁
- お仕事が大変なイメージ



# アンケート結果 福祉に対するイメージ

**授業後** あなたの福祉に対する「今」のイメージを簡潔に書いてください。

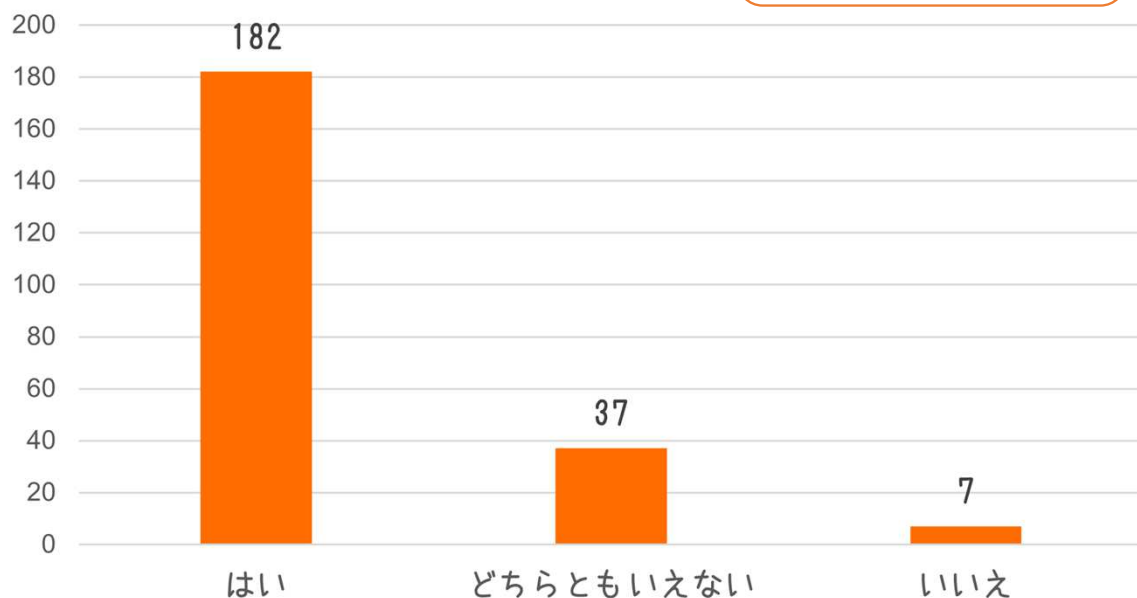
- みんなの幸せのお手伝いをする**すてきなお仕事!**
- 色々なひとが思いやりながら考えて誰かのために、動くというのが素晴らしいなと思いました。幸せの連鎖だなと感じました。
- 福祉の支援を受けるのは高齢者だけではないということ
- ふだんの暮らしを幸せに、とても素晴らしいことだと思います。僕も**ボランティア**などに参加しようと思いました。
- 普段の暮らしを幸せにするということなのが初めて知った。**福祉をみんながもっと知って、普段の暮らしがより良いものになっていく**といいなと思った
- 今需要と供給があっていないことが分かり**今後福祉とかがどんどん大切になっていくんだと思いました
- 全ての人に関わっているもの。他人事ではなくて**自分事**として考えていかななくてはいけないと思う。
- 以前は介護とかそういう系しかないと思ってたけど、トヨタとか色々な業界がやってて意外でとても勉強になった
- みんなが思ってるより身近な事に力を入れ、幸せを届けている
- 介護も**意外と悪くない**んだなって思いました。
- 福祉の世界も職業として良いかもしれない**と思った
- 福祉とは誰にでも必要で大切なこと
- まだまだみんな理解が足りてない**
- あまり若い人がしているイメージは無いけど、関心を示す必要がある業種だし、これからの世の中で必要になるなと思います。
- それぞれの仕事で**いろんな形で福祉に関連してる**ことやってんの面白いなーと思った
- 最初は介護とかのイメージしか無かったけど、介護以外の仕事で困っている人を助けたり、そのためにイベントを開催するなど**介護以外の仕事もしている**ことが分かった



# アンケート結果

総数 226 名

個数 / 他の学年や後輩たちにもこの授業を受けたいと思いますか？



学生のうち約80%が自分以外の生徒にもこの授業を受けてほしいと回答。

福祉に関する仕事に対するイメージの改善やボランティア参加の意欲の変化と併せてみても学生にとって福祉が身近に感じやすいものとなったといえる。

マニュアル化やパッケージ化し、他の企業や学校でも実施できる内容に整理することで、継続的な取り組みになれば、若年層へのPRに有効な手段となる可能性がある。



## コラボ側からの視点 ～企業・学校からの声～

### トヨタハートフルプラザ札幌

- ・ コラボできたことで、単独では学校にも福祉の観点から企業をアピールできた。
- ・ 社協が入ることで、知ってもらえる人の幅が広がるだけでなく、企業との関わりを持つことができた。
- ・ 札幌支店内の上長、自動車販売店、仙台、名古屋、神戸、福岡にある直営の店舗で今回の取り組みについて報告し「非常に良い活動である」とお褒めの言葉をいただいている。また、他店舗からは社協とのつながりを深めるためにはどのような取り組みをしているのか質問が挙がった。





## コラボ側からの視点 ～企業・学校からの声～

### 札幌新陽高等学校

- ・ 授業前と授業後では生徒のふくしに対する捉え方が大きく変わったことが印象的だった。
- ・ アンケート結果からもわかるとおり、皆平等にふくしについて学ぶことができたことは大きな成果だと感じている。今後も社会福祉協議会との関わりを持ちたいと思っている。

